

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

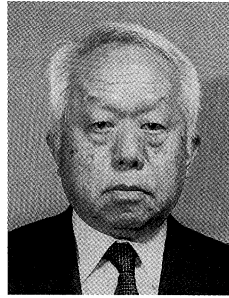
VOL.120 (年4回発行)

- 発行日 令和8年7月1日
- 発行 三春まちづくり協会
- 編集 三春まちづくり協会情報発信部会
三春町大字貝山字泉沢100-1
TEL/FAX(62)3988

『地域で支えあう協働のまちづくり』 — 令和八年度三春まちづくり協会 —

本協会においては、会則の定めにより毎年総会を開催して、予算、事業、役員を選出、その他重要事項を協議いただいております。本年度は4月23日に開催され、全ての議案において賛成多数をもって可決されました。

新協会長あいさつ



協会長 永井 久

この度、相川前協会長の後を引き継ぐことになりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

三春まちづくり協会は昭和57年に設立され、59年には自治省「コミュニティ推進地区」の指定を受けて、現在の組織の原型ができました。今年で44年目を迎えることとなります。

今年度、三春まちづくり協会は、これまでの六部会を「おもいやり・共生部会」「福祉部会」「地域文化部会」「情報発信部会」の四部会に再編成いたしました。これからの人口減少や高齢化にも対応できる組織づくり



を進めてまいります。また三春町では今年度から「まちづくり推進課」が新設されました。広報「みはるが好き」五月号で坂本町長は「町民の皆さんが主役という視点で組織再編を行い、その象徴が新しく誕生したまちづくり推進課だ」と述べておられます。これから三春まちづくり協会の役割もますます大きくなるものと思えます。

協会設立当時の資料を見ると「町民参加による活力あるまちづくりを進め

る」ことがまちづくり協会の大きな目的となつていきます。このことは44年後の現在も変わることはありません。町民全員の力を合わせて活力あるまちづくりを進めていきたいと思います。

坂本町長あいさつ



三春町長 坂本 浩之

令和8年度の三春まちづくり協会の総会の開催、誠にありがとうございます。

三春まちづくり協会の皆様におかれましては、日頃より町政全般にわたり、多大なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、各種まちづくり事業にも積極的に取り組まれ、地域の活性化に大きく寄与されており、感謝申し上げます。

さて、三春町では今年度これまでの歩みを振り返るとともに、未来に向けて新

しいまちのあり方を考え、将来の持続可能なまちづくりのために進んでまいりたいと考えております。

若い世代や女性の活躍を促す人材育成や地域参画の推進に力を入れ、里山に囲まれた生活環境を活かした安心安全の地域ネットワークを意識した「持続可能なまちづくり」を進めることで、町民一人ひとりが安心して暮らせ、心惹かれるまちの実現を目指してまいります。

この実現のためには、三春まちづくり協会の皆様の力強いお力添えが欠かせません。三春地区がさらに素晴らしい街になるよう、これからも共に歩んでいただきますと幸いです。

結びに、三春まちづくり協会の今後益々のご発展と、地域の発展、ご臨席の皆様のご健勝ご活躍を祈念いたしまして祝辞といたします。

部会を再編しました

事務局長

令和8年4月から、昨年度まで「生涯学習部会」「環境部会」「福祉部会」「地域部会」「街並部会」「広報部会」の六部会を「おもいやり・共生部会」「福祉部会」「地域文化部会」「情報発信部会」の四部会に再編しました。

一級建築士事務所



結建築研究室

佐久間 保 一

福島県田村郡三春町八島台 7-5-13 TEL (0247) 62-1775

うやまう心に、真心でご奉仕する



菊川屋

☎963-7765 福島県田村郡三春町荒町30

☎ (0247) 62-3600
FAX (0247) 62-1300

役員名簿	
職名	氏名
協会長	永井 久
副協会長	先崎 正之
	小池 清美
大町委員長	吉田 清三
中町委員長	白石 文夫
八幡町委員長	橋本 好美
荒町委員長	三瓶 敏代
北町委員長	渡邊 渡
新町委員長	先崎 正之
八島台委員長	橋本 広治
監事	白石 利夫
	橋本 広治
おもいやり・共生部会会長	宗像 義徳
福祉部会会長	荒井 しづ
地域文化部会会長	佐久間保一
情報発信部会会長	山口 晋
顧問	相川 義則
専従嘱託員	佐久間 覚

初心に聴く

■おもいやり・共生部会
橋本 佳知

「学びを重ね、地域とともに」
このたび三春小学校PT

各部会は、次のような活動のテーマを掲げ、今後、具体的な活動することになります。

おもいやり・共生部会
活動テーマ…夢を持ち誰もが安全安心に暮らせるまちづくり活動。

福祉部会
活動のテーマ…健やかに暮らせるまちづくり活動。

地域文化部会
活動のテーマ…地域の資源を生かした活力にあふれるまちづくり活動。

情報発信部会
活動のテーマ…情報を共有・発信し『地域の絆』をはぐくむまちづくり活動。

A会長の役割の一つとして、三春まちづくり協会に参加させていただくことになりました。これまで多くの地域活動に関わってまいりましたが、子どもたちの成長を支える中で、改めて地域のつながりの大切さを強く感じております。学校だけでなく、地域全体で子どもを見守り育てていく環境づくりが、これからますます重要になると考えています。初心に立ち返り、まずは地域の皆様の声に耳を傾け、学ばせていただく姿勢を大切にしてまいります。また、世代を超えた交流や支え合いの輪を広げていくことも、これからのまちづくりに欠かせません。地域には長年培われてきた知恵や取り組みがあると思っております。それらを学びながら、PTAでの経験も生かし少しでも地域の活性化や安心して暮らせるまちづくりに貢献できるような努めてまいります。今後とも

■福祉部会

鈴木 行雄

今度、地区からの依頼により、まちづくり協会の福祉部会の一員として活動する事になりました。初めての事で、不安な気持ちで一杯ではありますが、皆様にご迷惑をかけないよう努めますので、よろしくご指導のほど、お願い申し上げます。

私も75才、決して若くはありませんが、皆様と共に、気持は若く明るく楽しい、そして、暮しやすいまちづくりに努めたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

■福祉部会

宗像 タカ子

昨年12月に民生児童委員の委嘱を受け2期目となりそのつながりで、三春まちづくり協会福祉部会の一員

となりまして。民生児童委員一期目の時は、何もわからず毎日どうしようどうしようと思ひながら3年が過ぎて行きました。今回は新町区会で福祉部会もよろしくお願ひしますと言われ、また、どうしようと思つております。何の器量も器もなく、知り合いも少ない私が、皆様とのつながりが出来るかなあと不安で一杯の中、これも何かのご縁かと感じています。

大好きな三春町に住み早や40年の時が流れ、これも人とのつながりなんだあと思つております。人と向き合う時間を大切に、あたたかなつながりの中で、大好きな三春町で、わからないことだらけですが精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

■福祉部会
原田 アツ子

この度、福祉部会担当をさせて頂いたことになりました。今年の滝桜は菜の花とのコントラストがともきれいでした。街中は、桜の時期が終わると賑わいがなくなり寂しくなりますが、これからは、花桃、ハナミズキ、新緑と移り変わるきれいな街となり

ります。これまでに、いろいろな方々が、三春町を良くするために努力をしてきたので、今の三春町があります。また、町トシ、百歳体操、サロン等に参加され元気に過ごしている方々が沢山います。

不慣れな点も多いかと思いますが、皆様から三春の歴史や知恵を学びながら、元気で健やかに暮らせるように福祉部会担当として精一杯努めさせていただきます。宜しくお願ひ致します。

■福祉部会
折橋 健

この度、八島台一区副区長を務める事になり、それと同時に三春まちづくり協会委員に推薦され福祉部会を担当する事となりました。重ねて三春町健康づくり推進委員にも委嘱され全てが初めての経験で、何をすればいいのか自分のできるのか大変不安に思っています。喜多方市から勤務地の三春町に来て既に半世紀が過ぎました。当初は荒町渋池に住み荒獅子保存会や荒町ソフトクラブ、荒町ゴルフクラブなどでお世話になりました。楽しかった思い出がたくさんあります。今まで自治体活動の経験はありませんが、安心して暮らせる地域づくりを目指

安心と信頼のお取引を続け30年!!

県内買取 出張料 査定料 **無料!!**

空き家整理
コレクション整理
骨董品整理

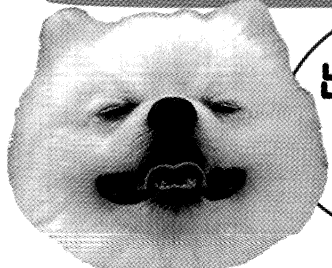
生前整理
遺品整理

店じまい

鈴屋

090-9422-3362

代表 鈴木仁 郡山市咲田2-22-11 TEL.024-954-9727



し微力ながら頑張りたいと思います。

■地域文化部会
 服部 幸子
 荒町地区の民生児童委員になり、初めての事で右も左も解らないまま、三春まちづくり協会にも参加して頂きたいとの申し出がありお引き受けしました。

地域文化部会は、昨年までの部会が再編成され、地域部会と街並部会がひとつになったことを聞きました。メンバーの皆さんの中には部会を経験されていて、活動の内容も理解し実行されている方なので「どこに石柱を建てたい」「秋まつりイベントは何をしたい」と活動の意識がとても高い

■おもいやり・共生部会
 渡辺 悟
 三春まちづくり協会の皆さまには、日頃より中学生を温かく見守っていただき

とありがとうございました。微力ではありますが、頼もしい先輩の方々について行きたいと思っています。

■おもいやり・共生部会
 大河原 昭一
 はじめまして。このたび初めて三春まちづくり協会に参加させて頂く事になりました。

どうぞよろしくお願いたします。

おもいやり・共生部会を担当と言う事ですが、子供からお年寄りまで全世代が安心安全に暮らせる三春「まち」に少しでも貢献出来るように微力ながら精一杯活動していきたいと思

心より感謝申し上げます。三春中学校PTAの代表として1年間よろしくお願します。

地域の活性化を考えると、改めて感じるのは地域と学校のつながりの大切さです。

中学生がどのように関わっているのか、若い世代ならではの発想や行動力は、地域に新しい風を吹き込んでくれるはずです。

そして、その成長を支えてくださる地域の皆さまの存在は、子どもたちにとって何より心強いものです。

これからも、中学生と地域の皆さま、特に高齢者の方々との交流が自然に広がっていく三春町であってほしいと願っています。

地域部会
 月斉館散策路を踏査し、

環境部会
 三春ダム視察研修を実施しました。

福祉部会
 三春町健康づくり推進員として「三春町健康づくり推進員活動」に協力しました。

生涯学習部会
 児童生徒の安全を守る活動として、登下校の児童生徒に対する見守り活動に助成しました。

街並部会
 「河野広中生誕地」石柱を設置しました。

広報部会
 協会活動を広く町民に知らせる取り組みとして、年四回「三春わが街」を発行しました。

地域部会
 月斉館散策路を踏査し、

環境部会
 三春ダム視察研修を実施しました。

福祉部会
 三春町健康づくり推進員として「三春町健康づくり推進員活動」に協力しました。

生涯学習部会
 児童生徒の安全を守る活動として、登下校の児童生徒に対する見守り活動に助成しました。

街並部会
 「河野広中生誕地」石柱を設置しました。

広報部会
 協会活動を広く町民に知らせる取り組みとして、年四回「三春わが街」を発行しました。

三春まちづくり協会の部会活動
 事務局長

三春まちづくり協会の令和7年度の6つの部会の活動を紹介します。

講演会のお知らせ

○詐欺被害防止講演会
 日時：令和8年7月8日(水) 14:00
 場所：まほら小ホール
 講師：福島県警地域安全活動アドバイザー

○一般救急法
 日時：令和8年7月23日(水) 13:30
 場所：まほら小ホール
 講師：田村消防署職員

○どこでも健康教室
 「突然襲ってくる脳卒中」
 日時：令和8年9月8日(火) 13:30
 場所：まほら小ホール
 講師：星総合病院職員

★参加は無料です。
 ★たくさんの来場をお待ちしています。

危険箇所や案内標識の確認をしました。
 東館散策路周辺の樹木へ標識を取り付けました。

街並部会
 「河野広中生誕地」石柱を設置しました。

三春秋まつりで、石柱パネルを掲示し「石柱拓本ラリー」「石柱めぐり」を行いました。

石柱の清掃を秋まつりに合わせて、実施しました。

広報部会
 協会活動を広く町民に知らせる取り組みとして、年四回「三春わが街」を発行しました。

認知症の方 寝たきりの方
 退院支援に力を入れています!

たき 多喜の家 アカネサス
 在宅介護支援住宅

ご自宅での介護、ご退院先にお困りの方
 私たちがお手伝いいたします

年金内で暮らしたい

随時入居者募集中 入居保証金0円

お問い合わせ先 TEL0247-61-7333 FAX0247-61-7332
 〒963-7766 田村郡三春町字中町34

田村高校生の「総合的な探究の時間(夢ゼミ)」の紹介 第12回

田村高校では、総合的な探究の時間(夢ゼミ)において、三春町の歴史、風景、町の課題、イベントなどを高校生の目線で探究し校内発表を行っています。そこで、三春まちづくり協会では、ご担当される先生方の協力を得ながら発表内容の一部を紹介いたします。
(第12回)

【祭りを通して三春町の魅力を発信する】

SDGs目標11・ターゲット



国際運行広報センター
HPよりダウンロード

私たちは、「祭りを通して三春町の魅力を発信する」をテーマに、活動することにしました。

今、三春町では、少子高齢化に伴い地域の活力が低下しています。

この現状を打破するため、まずは多くの人に『三春町』を見てもらうべきだと考え、その中でも、私たちは「祭り」に注目してみました。

三春町には、どんな祭りがあるのかを調べ、三春町の発信に少しでも力になりたいと思い、このテーマを選びました。

インターネットで調べてみたところ、伝統的な祭りの例として「八雲神社祭礼」が挙げられました。

この祭りは、江戸時代初期から中期にかけて始まり、毎年7月26日に開催される、疫病退散を願う伝統行事となっています。

祭礼では、悪魔祓いの「荒獅子」が練り歩きます。また、疫病除けとしてきゅうりを2本奉納し、1本いただくという風習が特徴となっており、「きゅうり天王」としても知られています。



地域の人々が協力して祭礼を続けており、伝統文化を次世代へ残そうとしていることが分かりました。地域の歴史や人とのつながりを守る大切な文化だと感じました。

私たちが探究していることは、SDGs「11. 住み続けられるまちづくりを」にも関係しています。身近で誰もが楽しめる祭りに参加し、盛り上げ、三春町の発信の力になりたいです。

今回、ここで紹介させていただいたことは、私たちの探究活動の一部です。

7月に最終発表のポスターセッションを田村高校で行います。地域の方々も出入り自由なので、ぜひ、私たちの発表を聞きに来てください。

(田村高校3年 草野洸大、佐久間零、関根領太、眞壁創志、森口佳唯)

※ポスターセッション：7月2日(木) 13:25～15:15 田村高校校舎内で開催予定

※八雲神社は、戦国時代に京都祇園から牛頭天王(ごずてんのう：祇園精舎の守護神とも、薬師如来の化身ともいう。疫病神で、のちには素戔鳴尊(すさのおのみこと)と習合されて尊崇された)を勧請した神社と伝えられています。

編集後記

「三春ダム」の生態、環境の変化について」平成10年に竣工から数年後に大型ヘラブナ(通称「ヘラ」)が釣れる事がわかり三春ダムでヘラ釣りを始めました。

特に満水で3、4月には産卵の為、普段なかなか釣れない50cmオーバーの巨ペラが浅場で釣れる事もあり、町内外から釣師が集まります。

釣り場を整備しないと釣りが出来ない為に、限られた場所になります。

ヘラブナ以外にギンブナ、鯉、オイカワ、ハヤ(ウグイ)なども昔から多く生存していますが、外来種の繁殖、カワウの増加に伴い小型の魚は年々激減していると感じています。

昨年は異常気象の影響か原因不明ですが、大型ヘラの大量死もありました。

三春ダムは、下流の大滝根川、阿武隈川の洪水被害の軽減、環境改善を図る為に5月から減水を行います。その際に外来種の魚の産卵床を干し上げる対策として、段階的に減水して繁殖を軽減しています。

また、大量のカワウについては、1羽で1日に500グラム以上の魚を捕食する為ブラックバス、ブルーギル以上に魚の生態に悪影響を与えていますが、駆除が難しく対策が出来ていません。

魚の生態以外にダム近辺でカワウのフン被害が出る可能性があるため、対策が必要になるかと思われれます。

昨年、ダムのほとりにキャンプ場、カヤック体験施設も出来て、いろんな方面で楽しめるダムになる為に、これ以上の生態系景観、環境が悪くならない事を祈りたいです。

(湯浅 勉)